

(共同リリース)

2026年6月15日
成田国際空港株式会社
株式会社 NAA リテイリング
Braskem S.A.
株式会社 JALUX

成田国際空港の免税店「Fa-So-La」で国内空港店舗初 バイオスマーク「95%」認定のショッピングバッグを導入 ～バイオマス由来の素材を最大限に配合し、CO₂削減と脱石油を推進～

成田国際空港株式会社（NAA）のグループ会社である株式会社 NAA リテイリング（本社：千葉県成田市、代表取締役社長：松澤 宏）は、成田国際空港で展開する免税店「Fa-So-La」等の店舗において、国内の空港店舗として初めて（※1）、バイオスマーク「95%」（※2）の認定を受けた新たなショッピングバッグの導入を決定しました。2026年7月より順次切り替えを開始します。

本ショッピングバッグは、環境配慮型資材の普及を目指す JAL グループの商社 株式会社 JALUX（本社：東京都港区、代表取締役社長：河西 敏章）と、バイオポリマー生産におけるパイオニアかつグローバルリーダーである Braskem S.A.（本社：ブラジル サンパウロ市、CEO：ロベルト・ラモス）が共同で開発したものです。

※1 株式会社 JALUX 調べ

※2 原料の95%以上がバイオマスであることを示す一般社団法人日本有機資源協会が運営するマーク



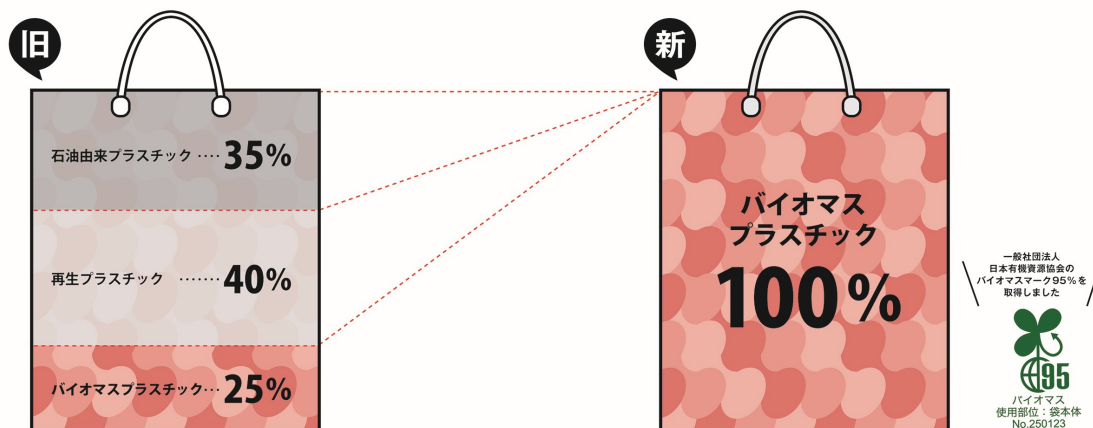
新たなショッピングバッグ本体に使用する I'm green™ バイオマスポリエチレンは、サステナビリティに配慮して調達されたブラジル産サトウキビ由来のエタノールを原料としています。従来の石油由来プラスチックと同等の性能を備えるとともに、サトウキビが生育過程で CO₂ を吸収することから、カーボンニュートラルの実現にも貢献します。現行のショッピングバッグ（※3）と比較して温室効果ガス排出量を年間約 700t 削減（※4）できる見込みであり、I'm green™ バイオマスポリエチレンを最大限に配合することで、石油使用量の低減を推進します。バイオスマーク認定の袋製品において最高レベルのバイオマス度「95%」を実現しながら、使い勝手や耐久性は維持しており、お客さまへの快適なサービスの提供と環境への配慮を両立します。

本取り組みに関わる4社は、今後も環境負荷低減への取り組みを拡充し、CO₂削減目標の実現に貢献してまいります。

※3 バイオマスプラスチック 25%、再生プラスチック 40%、石油由来プラスチック 35%を配合

※4 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社調べ

袋本体のバイオマスプラスチック使用率を
25%から100%に最大化し
環境負荷の軽減を実現しました



【各社概要】

■ 成田国際空港株式会社

成田国際空港の管理・運営会社。空港運営の高度化と地域との共生を追求しながら、日本と世界をつなぐ国際拠点空港として社会インフラの役割を担うとともに、グローバルな航空ネットワークの発展を支えている。「サステナブル NRT2050」(※5)の達成に向けて、環境負荷の低減を推進している。

※5 サステナブル NRT2050 : <https://www.narita-airport.jp/ja/company/sustainability/environment/policy/>

Web サイト : <https://www.narita-airport.jp/ja/company/>

■ 株式会社 NAA リテイリング

成田国際空港にて「Fa-So-La」ブランドの免税店を軸に物販・飲食店舗を80店舗以上運営。「成田ならではの」の次世代型旅客体験の創出に向け、空港ショップの新しいスタイルの創造に取り組んでいる。

Web サイト : <https://www.naar.jp/>

■ Braskem S.A.

バイオソリューションのパイオニアとして15年以上の実績を持つ。食品包装、建設、製造、自動車、農業、ヘルスケア、衛生など、さまざまな分野向けの樹脂や化学製品のポートフォリオを有する。ブラジル、アメリカ、メキシコ、ドイツに計40の工業拠点をもち、世界70か国以上の顧客に製品を提供している。

Web サイト : <https://www.braskem.com.br/home-en>

■ 株式会社 JALUX

JALグループの商社として、航空・空港関連事業をはじめ、保険、不動産、EC、食品など多岐にわたる事業を展開するほか、環境関連資機材の商品開発にも積極的に取り組む。企業理念「幸せづくりのパートナー〜人に社会に環境に、もっと豊かな輝きを〜」のもと、暮らしを豊かにする商品・サービスを多数手がける。

Web サイト : <https://www.jalux.com/>